

「交流サロン」だより in 大仙 6月号

2022

秋田県内の新型コロナの感染状況もようやく落ち着きを見せ始めました。

しかしながら、首都圏では逆に増加傾向にあります、地方で遅れて感染拡大した状態を思えば、また、この流れで盆過ぎに来るのではと懸念しているところでは、さて、昨年度まで、福島県の避難者支援事業の原資で実施してきました、私たちの「交流サロン」等の活動ですが、今年度からは、福島県と関わらないで活動を継続することを県南連絡協議会の中で意見が一致しました。残念ながらこれまでのような、イベントなどを実施することは難しいと思いますが、ほそぼそでも「交流サロン」と「サロンだより」は継続していきたいと考えています。話は突然変わります。たった今（28日9時）入った情報です。三関のさくらんぼが不作との情報が流れている中、知り合いの果樹園では、「佐藤錦」が豊作とのこと私のねらいは、この後の「紅秀峰」、この品種も順調とのこと、嫌なことばかりで暗い気分が梅雨空のごとく広がっていたのですが、この一報で晴れたと同時に一生懸命努力している人がいるんだと前向きになりました。

マイフォト一言

待ち遠しかった、「鳥海山」が近づいて見える日、まるで横手・湯沢間を走っているような錯覚を覚える「こまち」の姿にチョット感動した一瞬でした。

大仙の中仙地域から鳥海山まで、直線距離で約66km、十文字からだ約45kmと20kmの差を感じさせない程近づいて見えるのは、年に何度もありません、さすが名峰秋田富士、雄大です。その一瞬を切り取るには継続しかありません、今年は、「水鏡」に「名峰」!! 運の良い事が続くことを願っています。

マイフォト「春の鳥海」

令和4年6月14日撮影



7月の交流サロン

7月24日(日)
10時〜15時!!

「折り紙」教室とします
展示用の作品の制作に取り掛かります、ご協力ください、お待ちしております。

昼食代 200円

新型コロナの感染状況によつては中止も予想されます。予めご了承願います。

交流サロンの維持

この度の県南連絡協議会での決定にもとづき大仙フレンズでも協議した結果、今までの活動を維持して行きたいとの要望が多数を占めました。大きなイベント等はできなくても、被災者が集える場をなくしてはならないという想いが皆さんにあると強く感じました。資金など難しい点はありますが、想いを大事に努力します。

今月の「交流サロン」から!!

冒頭から県南連絡協議会での報告とこれからの活動について協議をしたためか今一つ皆さんの気力を削いだ様で「折り紙」の作業に移ることが出来ないようでした。昼食後はいくらか気分転換になったよう、具体的な展示内容を検討したり、折り紙をするなどで何とかこの日の「交流サロン」を閉めることが出来ました。この日の昼食のメニューは、「スズキ」のムニエルバター醤油ソース、蕨の浸し、スズキのあらのお吸い物、エビピラフでした。初めてのピラフで大失敗をし、ご飯を柔らかく仕上げ、残念!!

二日前にとったワラビ



「折り紙」教室



本日の昼食「スズキは女川産」



東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二